

中国における鳥インフルエンザ患者の発生について

平成 24 年 1 月 17 日

厚生労働省健康局結核感染症課

- 平成 23 年 12 月 21 日、中国広東省深圳市で鳥インフルエンザ A (H5N1) の患者が発生した。
 - ・患者は 39 歳男性。12 月 21 日に発熱で発病し、12 月 25 日に重症肺炎で入院したが、12 月 31 日午後、病状が急に悪化し死亡した。
 - ・広東省疾病予防控制中心 (CDC) は、12 月 30 日に患者の検体から鳥インフルエンザウイルス A (H5N1) を同定し同日発表した。
 - ・この事例で明らかな鳥との接触は報告されておらず、感染源は明らかになっていない。

- 1 月 5 日の WHO の発表によると、この事例の濃厚接触者 120 名に異常は報告されておらず、人から人への感染例は発生していない。

(参考)

- ・鳥インフルエンザ A (H5N1) の人への感染事例は、中国では、2010 年 11 月の香港の症例以来、約 1 年ぶりであり、今回が 41 人目である。このうち 27 人が死亡している。
- ・平成 23 年には、世界で 61 名の鳥インフルエンザ感染事例が報告されており、うち 34 名が死亡している。